

お客さまを和の心でおもてなし すまゐるひろばと壽丸屋敷で白石城茶会

10月1日、鬼小十郎まつりに訪れたお客さまを和の心でもてなそうと、「白石城茶会」がすまゐるひろばと壽丸屋敷で開催されました。すまゐるひろばでは、裏千家茶道子ども教室に通う子どもたちが「絆」のテーマでお茶席を設け、「アンパンマン」をあしらったお菓子を提供するなど訪れた人たちを楽しませていました。また、壽丸屋敷では江戸千家の薄茶席が設けられ、大正時代の商家とともにお茶を楽しみました。この日は、江戸千家の川上紹雪若宗匠も来白。碧水園の茶室が被災したことを憂いながらも、復興を祈念していました。



▲和の心で訪れた人たちをもてなす子どもたち

地区の名誉をかけて…そして、絆を深める 第83回白石市民体育大会



▲みんなの「本気」と「笑顔」が白石の絆を深めていました

10月9日、「第83回白石市民体育大会」が白石川緑地陸上競技場で開催されました。秋晴れに恵まれた今年の大会は前年優勝地区の旭町、遠藤克美さんと箱崎響さんの選手宣誓でスタート。市内幼稚園・保育園の園児による「白石うーめん体操」が行われた後、釣りもの競走や玉入れ、綱引き、長縄跳び、200歳リレーなど多様な競技で熱戦が繰り広げられました。

地区の威信をかけた戦いは、柳町が優勝、本郷第四が準優勝、本郷第三が3位で幕を閉じましたが、結果以上に、地区の交流を深め、絆を深めた大会となりました。

おいしい秋をいただきます レトロフェスタ&鍋食べまくり

10月10日、「レトロフェスタ&鍋食べまくり」(主催:白石商工会議所、仙台・宮城観光キャンペーン白石市推進協議会)がすまゐるひろばと城下広場で開催されました。会場では、クラシックカーの展示や県内商工会議所青年部などによるご当地鍋が提供されたほか、「ボーイスカウト祭り」として「焼きいも」や「ねじりパン」作りが体験できるコーナーも設置。イベントの最後は、クラシックカーによる交通安全パレードが行われ、さわやかな秋晴れの下、子どもからお年寄りまで約3,500人が「おいしい秋」「楽しい秋」を過ごしていました。



▲会場にはたくさんの笑顔があふれていました

音楽の力を届けたい 白石城下町コンサート in 2011



▲最後の曲は「ふるさと」。会場がひとつになりました

10月10日、「白石城下町コンサートin 2011～東日本大震災支援チャリティーコンサート～」(主催:白石市民吹奏楽団)がホワイトキューブで開催されました。この日は、白石中、東中、福岡中、白石高、白石工業高の吹奏楽部の生徒と白石市民吹奏楽団の団員総勢150人が演奏を披露。生徒や団員の想いがこもった演奏は、500人を超える来場者を静かな感動で包み込みました。山田睦男団長は、「音楽が持つ力を信じて、被災された皆さんが笑顔を取り戻すまで、各地の状況に寄り添いながら活動を続けていきます」と話していました。

練習の成果を思う存分に発揮! ねりんピック囲碁交流大会リハーサル大会

9月25日、「ねりんピック宮城・仙台2012白石市囲碁交流リハーサル大会」がホワイトキューブで開催され、約100人が参加しました。風間市長は、「全国から集まる方々に元気な白石を発信し、思い出に残るすばらしい大会にしましょう」とあいさつ。参加者は、日ごろの練習の成果を思う存分に発揮し、真剣勝負の後は、互いに親交を深めていました。この日は、囲碁交流大会のほか、プロ棋士による囲碁解説や健康相談、うーめんおもてなし、趣味の作品展示なども行われ、来年10月に開催される本大会を広く周知していました。



▲真剣に勝負する参加者

交通事故が起きないことを願って 交通安全協会本郷第一分会がストップマット張り付け



▲一人一人の思いが交通事故を減らします

9月25日、「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」(9月21日～30日実施)に合わせ、交通安全協会本郷第一分会(前川幸夫分会長)の皆さん18人が「正しい横断の励行」を実践するため、横断歩道の手前にストップマットを張る作業を行いました。同分会は、小学校や高校の通学路になっているほか、国道113号や中央公民館も位置する地域。「子どもたちや中央公民館の利用者などが交通事故に遭わないように、少しでも気を付けてほしい」と、ストップマット20枚を横断歩道に張り付きました。今年市内の交通事故件数は9月30日現在で516件。昨年よりも約50件減っていますが、より一層の安全運転・通行を心掛けましょう。

「環境」について親子で学ぶ 福岡小の親子活動でソニーサイエンススクール

9月28日、ソニー白石セミコンダクタ株式会社(伊藤弘悦社長)の社員が福岡小を訪れ、環境出前教室「ソニーサイエンススクール」を開催しました。4年生の親子活動の時間を利用した今回の教室。教室では、ペットボトルを使ったろ過装置を作ったり、洗剤の量を変えて汚れの落ち方を調べたりするなど、親子で一緒に実験。児童と保護者約100人が、「水の浄化」と「洗剤の効果」を楽しく学びました。児童も保護者も「川を汚さないために、私たちにできることを見つけよう」という話に真剣に聞き入っていました。



▲洗剤の量の違いで落ち方を確かめる児童たち

これからも元気で長生きしてください 本多初江さんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲ご家族で100歳をお祝いしました

9月30日、本多初江さん(福岡長袋)を風間市長が訪れ、満100歳を迎えた初江さんのご長寿を祝福しました。沢目生まれの初江さんは、現在の白石第一小学校の教師としてお勤めになり、今でも当時の教え子と交流を楽しんでいます。水泳やテニスなどのスポーツが得意だったことから、今でもスポーツ観戦が趣味とのこと。また、花や動物が大好きで天気の良い日には散歩に出掛け野の花などを楽しむそうです。

この日はご家族もお祝いに駆け付け、「これからも元気で長生きしてね」と初江さんに話していました。